

【お知らせ】麻機遊水地で『火入れ』を行います

麻機遊水地の効率的・効果的な環境改善や維持管理に向けて、『火入れ』（冬季の枯れヨシ焼き）を行います。

消防局の協力のもと、安全に配慮して実施しますのでご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



麻機遊水地で実施した『火入れ』の様子



目的

遊水地の維持管理・環境改善

日程

2026年1月25日（日）9時～12時頃 （雨天の場合は2月1日（日））

場所

麻機遊水地第3工区内（静岡市葵区牛田）

※火入れに関する安全管理方針

- 延焼を防ぐ「防火帯」を設置、消火器や消火スタッフを配置して実施します。
- 強風注意報、異常乾燥注意報又は火災警報が発令された場合には、中止します。
- 火入れの途中で各注意報や警報が発令された場合にも、速やかに中止します。
- 河川や森林の各管理者のほか、警察や消防署に届け出を行っています。
- 風向きによっては黒い灰が飛散する場合もありますが、引火の危険はありません。

※周辺にお住まいのかたへのお願い

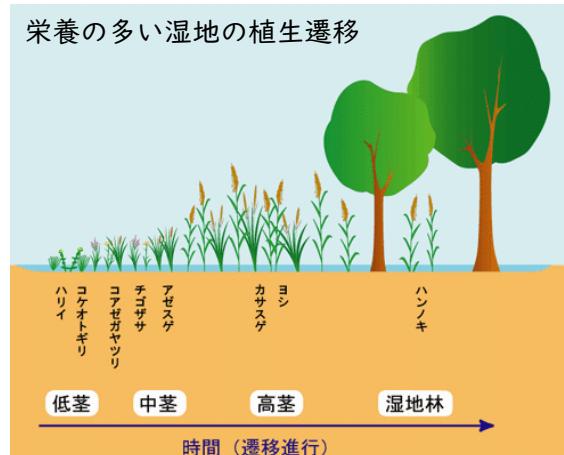
- 9時30分頃から「火入れ」を実施します。**煙などが発生するため、お手数をおかけしますが、「家の窓を閉める」、「洗濯物を外に干さない」などのご対応をお願いいたします。

コラム：どうして『火入れ』をするの？

麻機遊水地は、水と栄養分が豊富なため植物が育ちやすく、時間が経つにつれて森林が発達します（植生遷移といいます）。

しかし遊水地が樹木に覆われてしまうと、水辺や草原に暮らす生きものが消えてしまったり、治水機能に悪影響を与えることがあります。

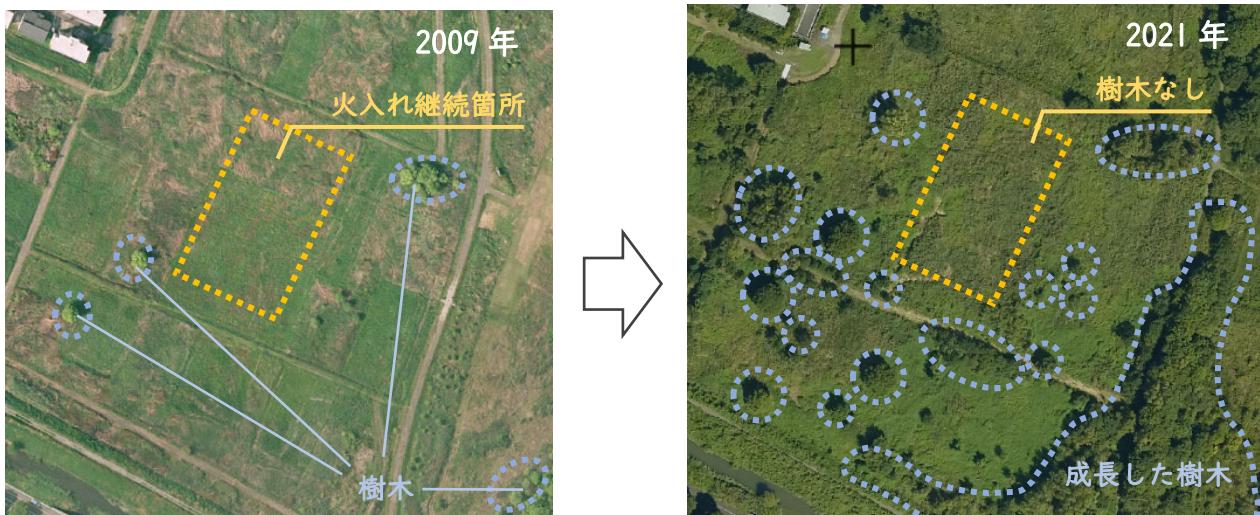
そこで当協議会では、『火入れ』をすることで植生遷移を抑え、効果的・効率的に治水機能の維持や自然環境の改善をできないか、実験をしています。



※画像引用：トヨタの森 HP https://www.toyota.co.jp/jp/social_contribution/forest_of_toyota/eco_monitoring/sp/wetland_page1.html

麻機での効果① 樹林化の抑制

2018年～2024年まで火入れを続けている場所は、樹木のないオギ・ヨシ原になっています。



出典：国土地理院地図 電子国土 Web を基に作成

麻機での効果② 生きものや文化の保全

火入れ後の明るい環境やオギ・ヨシ原を利用する生きもの・文化が守られています。



春先に咲いたタネツケバナ



オギ原に暮らすカヤネズミの巣



浅間神社の輪くぐりさん
(麻機のオギで作っています)

詳しいお知らせは公式 HP をチェック！

麻機 協議会

検索

お問い合わせ先

麻機遊水地保全活用推進協議会 事務局

(昭和設計株式会社 担当：小池 祥平)

電話 054-252-1854 携帯電話 090-4404-3070